

第15回田原市男女共同参画推進懇話会議事要旨

- 1 日時 平成24年3月26日(月) 13:30~15:40
- 2 場所 田原市役所南庁舎 講堂
- 3 出席者 ○委員14名
中村都祁子(会長)、河邊寿夫(副会長)、岩田大介、菊池邦子、森下静子、小久保恭子、杉山礼子、柴田登、大羽チズエ、鈴木貴江、渡辺峰男、川口昌宏、平野利依、武田圭太(オブザーバー)
(欠席7名:松野美香、鈴木政義、吉武正康、鈴木信、大久保哲夫、加藤昌高、永田みよ江)
○事務局4名 渡邊市民協働課長、鈴木副主幹、広中主任、柴田主事補
- 4 会議録署名委員 岩田大介、森下静子
- 5 議題
 - (1) 各委員の取組状況について
 - (2) 市の取組状況について
 - (3) 第5回男女共同参画フェスティバルで上映する映画作品について
 - (4) 男女共同参画推進プラン中間見直しについて
 - (5) 愛知県男女共同参画人材育成セミナー報告
 - (6) 次回懇話会の開催について

6 議事要旨

●進行 中村会長

(1) 報告事項

①武田オブザーバー講話

〈米・女性心理学者・ベイリン(L. Bailyn)の研究を紹介〉

- 共働き夫婦の結婚生活幸福度は、夫の協調度に比例する。
- 共働きの緊張を低減する方法として、協調度に差をつけること、協調度に差をつけないことがある。
- 「協調度に差をつける」とは仕事優先者と家庭優先者を決めることで、「協調度に差をつけない」とは責任を平等に分担することである。
- 「協調度に差をつけない」分担法として、五つの方法を提示。
- 方法1 どちらか一方の領域の制限として、キャリアの望み、子どもをもつことを制限したり、働き方を変えたりすることがある。
- 方法2 生活周期の統制として、キャリアと家庭を重視する時期を決める。
- 方法3 仕事と家庭との分割として、家に仕事を持ち帰らないことを夫婦でお互いに気をつけ合い、育児休暇等を利用する。
- 方法4 妻を経営主として、二人で同一のキャリアを追及する等、配偶者と共同作業を行う。
- 方法5 別居してそれぞれのキャリアを追求する。
- 以上のように、共働き夫婦には様々な選択肢が存在する。

②各委員の取組状況について …… 各委員報告(資料1)

- アジアオンブズマン協会会議にて、アジア各国代表者の意見交換を傍聴した。
- 市役所の各部署では、男女共同参画がどのように活用され、進められているのだろうか。

- 田原市では、外国人の住民登録に関してどのような形で進められているのか。
- 懇話会でも啓発パンフレットを作成・発行できないだろうか。
- 田原市民会議の環境部会に出席している。
- 自治会への女性参加促進に取り組んでおり、地域コミュニティ活性化研究会においては女性参加について検討していく。
- 女性会議ウィットは、「ジェンダーかるた」を使ったジェンダーについて学ぶ啓発活動や、性教育・エイズに関する講座を開催した。
- 女性へのパワーハラスメントは、男女平等の意識が低いために起こるのではないか。
- 若くないがゆえに女性の人格を傷つける言葉を言う男性もおり、辛い思いをする女性はいる。
- 防災・男女共同参画をテーマとした講演会に出席した。

③市の取組状況報告 … 川口委員説明（資料2、資料3）

- ・田原市男女共同参画推進プランに基づく市の取組事業概要について資料2に基づき説明
- ・男女共同参画推進事業について資料3に基づき説明

（2）検討事項

①第5回男女共同参画フェスティバルについて … 事務局説明（資料4、資料4-1）

《決定事項》

- 映画作品を数個選定し、その希望順位が高い順に、監督等映画関係者の講演会が行えるか、予算等に配慮して、事務局が業者と調整。
- 最終的に一作品を決定することについては、会長と事務局に一任。
- 多数決の結果、第1候補「60歳のラブレター」、第2候補「武士の家計簿」「豚がいた教室」、第3候補「幸福な食卓」、第4候補「オカンの嫁入り」、「ぼくらのワンダフルデイズ」、「ツレがうつになりまして」となった。
- 第3候補までの作品群でも決定しない場合は、第4候補で調整する。

②田原市男女共同参画推進プラン中間見直しについて … 事務局説明（資料5）

- ・次回懇話会にて、プラン見直しのための修正部会委員を選任する。

（3）その他

①愛知県男女共同参画人材育成セミナー受講報告（資料6-1、資料6-2）

・・・平成23年度セミナー修了生 永井和子さん

- 子育て支援に関する講義では、少子化問題や認定子ども園、全ての子どもが安心して生活できる環境づくりについて学んだ。
- 岡崎市の女性で、図書館ボランティアやイベントを企画する方の事例紹介を聞き、大きな活動をされる女性がいることに驚いた。
- 貧困問題では、リストラ、母子家庭、不正規労働等、男女ともに関わる大きな問題がある。
- グループ別研修において、学童保育をキーワードに、女性の就労について調査を行った。
- 田原市生涯学習課や市民館に直接出向き、聞き取り調査を行った。
- 市内児童クラブの指導員には、男性は一人しかいない。男性の働きやすい環境ではないことが調査からわかった。

②その他意見

- 防災の分野では、避難所等を運営する立場に女性がおらず、女性の意見が取り入れられないことがある。

○親子間での、性教育や感染症について語り合える関係づくりは大切だが、実際はできていない家庭が多い。

③次回懇話会開催について

○平成24年5月中旬（予定）

7 資 料

第15回田原市男女共同参画推進懇話会委員出席者名簿・席次表

【資料】ベイリン (L. Bailyn) の研究に関する資料 (武田オブザーバーの講話資料)

【資料1】各委員による取組状況

【資料2】田原市男女共同参画推進プランに基づく市の取組事業 (概要)

【資料3】平成24年度男女共同参画推進事業 (概要)

【資料4】第5回男女共同参画フェスティバルについて

【資料4-1】映画作品リスト

【資料4-2】映画作品リスト (追加)

【資料5】田原市男女共同参画推進プラン中間見直しについて

【資料6-1】放課後子どもプランについて

【資料6-2】女性が安心して働き続けるために～学童保育の現状～

【パンフレット】・農家向け啓発パンフレット「あなたの農家生活をもっと豊かにしてみませんか」

・たはら男女共同参画ニュース「Walk Together vol.9 vol.10」

【参考資料】内閣府発行 月刊「共同参画」より抜粋